



第3号様式 (第13条)

函館市IT・ロボット等活用生産性向上補助金等実績報告書

令和2年(2020年)11月2日

函館市長様

住所 函館市鈴蘭丘町3-133
申請者 氏名または団体名 株式会社 プロメック
および代表者氏名 代表取締役 漆寄 照政

令和2年(2020年)6月24日付け函経工をもって補助金等の交付決定を受けた下記の補助対象事業は、令和2年(2020年)10月30日に完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

- 補助対象事業の種類 (該当する番号を○で囲むこと。)
① 専門家派遣型IT・ロボット等設備導入支援事業
(2) IT・ロボット等活用共同研究支援事業
- 補助対象事業の名称 自動ワーク供給装置(ロボット仕様)付マシニングセンター導入による24時間無人運転の確立
- 補助金等交付決定通知額 金 10,000,000 円

4 補助金振込先(申請者の口座)

| 銀行名 | 支店名 | 口座の種類 | 口座番号 |
|------|------|-------|------|
| | | | |
| 口座名義 | (カナ) | | |

- 実績書 別紙1のとおり
- 収支決算書 別紙2のとおり

実績書

| | |
|---------------------------|--|
| 事業の名称 | 自動ワーク供給装置（ロボット仕様）付マシニングセンター導入による24時間無人運転の確立 |
| 実施内容 | マシニングセンター（CMX6000）にロボット仕様 AWC を組み付け作業者は AWC の持つ32個のパレットにワークをセットする。ワークセットは平均5分/パレットで完了でき、32パレットセットに260分の作業員月時間が発生するが、ワーク加工時間は平均45分を要する。結果作業員時間4.3時間に対しマシニングは24時間稼働可能となり大幅な無人化運転が可能となる。導入にて内容が検証された。 |
| 期待される効果 | 現状マシニングセンターの実稼働時間は作業員労働8時間に対し4時間である。上記内容が検証され今回導入機は従来機の5台に相当する。 作業員の労働時間を低減させながら、機械の稼働時間を大幅に向上させることができ生産性は大幅に向上し、採用難対策、利益向上に貢献できる。 |
| 今後の展開について | 本補助金利用により生産性向上が検証された。 今後年内に1台、来年3月までに更に1台の追加を行い大幅生産性向上を目指す |
| 研究者の協力内容 (共同研究支援事業の場合) | |

(注) 1. 実績書の内容について、詳細に記載すること。(別紙も可)

2. 導入した商品の写真および概要のわかる資料ならびにその他必要と認められた書類を添付すること。

収支決算書

収入の部

(単位：円)

| 項 目 | 本年度予算額 | | 本年度決算額 | | 増 減 | | 内 訳 |
|------|------------|--------------|------------|--------------|-----|--------------|-----|
| | | うち補助 対象事業 | | うち補助 対象事業 | | うち補助 対象事業 | |
| 自己資金 | 21,621,000 | 21,621,000 | 21,621,000 | 21,621,000 | 0 | 0 | |
| 市補助金 | 10,000,000 | 10,000,000 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 | 0 | |
| 合 計 | 31,621,000 | 31,621,000 | 31,621,000 | 31,621,000 | 0 | 0 | |

支出の部

(単位：円)

| 項 目 | 本年度予算額 | | 本年度決算額 | | 増 減 | | 内 訳 |
|----------|------------|--------------|------------|--------------|-----|--------------|-----|
| | | うち補助 対象事業 | | うち補助 対象事業 | | うち補助 対象事業 | |
| MC AWC 付 | 31,621,000 | 31,621,000 | 31,621,000 | 31,621,000 | 0 | 0 | |
| 合 計 | 31,621,000 | 31,621,000 | 31,621,000 | 31,621,000 | 0 | 0 | |

収支差引額

0円

注) 1. 金額については、すべて消費税および地方消費税相当額を除いた額で記載すること。